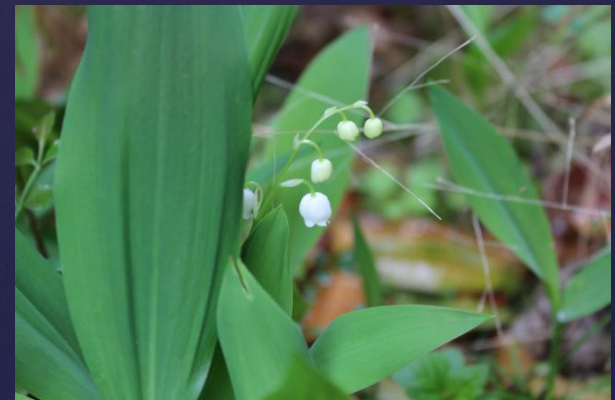


2014.8.2 チーム医療セミナー

Nursing の理念

=J. Watsonのことばをたどって=

明和病院 血液内科 林 邦雄





20th International Caritas Consortium
October 23-24, 2014 | Detroit, MI
Sponsored by St. John Hospital & Medical
Center.

Watson, Jean, 1940-

The University of Colorado-Denver and
Rush Presbytererian University
The University Press of Colorado

The Web site: www.uchsc.edu/nursing/caring

The International Caritas Consortium
(1995~)

1. 1957 E.D. Thomas, N. Engl. J. Med. 257
Intravenous infusion of stem cells
2. 1959, *identical twin*,
supralethal irradiation後、血液学的回復
しかしLeukemiaは再発



9. 1968. **A team of nurses**

10. 1969 HLA matched sibling ,
進行したAMLに移植

11. 1977 a plateau in Kaplan-Meier

6/54 -----cured
 about 50 of 299 -----cured
 ALL of children-----40% plateau



小石 = care





自己

他者

仲間

指導者

環境

コミュニティー

広がる世界

=見る、出会えるかもしれない=

トランスパーソナル

自己超越の概念をさらに発展させたもの。
人間の究極的な目的とは、自己を越えた何ものかに統合されることと考える。他者の精神と結びつき、それを包み込んだ時に起こる体験。



臨床心理学の歴史

1. 行動主義的心理学
2. 精神分析
3. 実存・現象学的心理学
4. トランスパーソナル心理学

カリフォルニア パロアルト

トランスパーソナル研究所

マズロー、グラフ:1969

ウィリアム・ジェイムス研究所

トランスパーソナルケア

私を超え、ここを超え、今を超え

“精神”とより広い“世界意識”との深い結びつきに
到達する。

注意を集中して、癒しの可能性への助けが得られる。

精神的な無限の結びつきへと広がって行く。



トランスパーソナルナース

意識的愛、ケアー意識を育てる

⇒⇒⇒身体から心への存在について知る力。

ユニークな自己、他者、時間に焦点を当てる

⇒⇒⇒超越, ケア、イヤ、全体性へ意識を集中させる能力、

意味という内的な世界と結びつき他者の精神に結びつく
試みをする。病気と離れ、人全体を見る。

ナースの力量＝人間としての力量、実存の道を育てること

ケア・ヒール・ラブ

“ケア・ヒール・ラブ”の意識
時間、空間、身体からの超越を意識

ケアの科学：芸術と人間性を含む









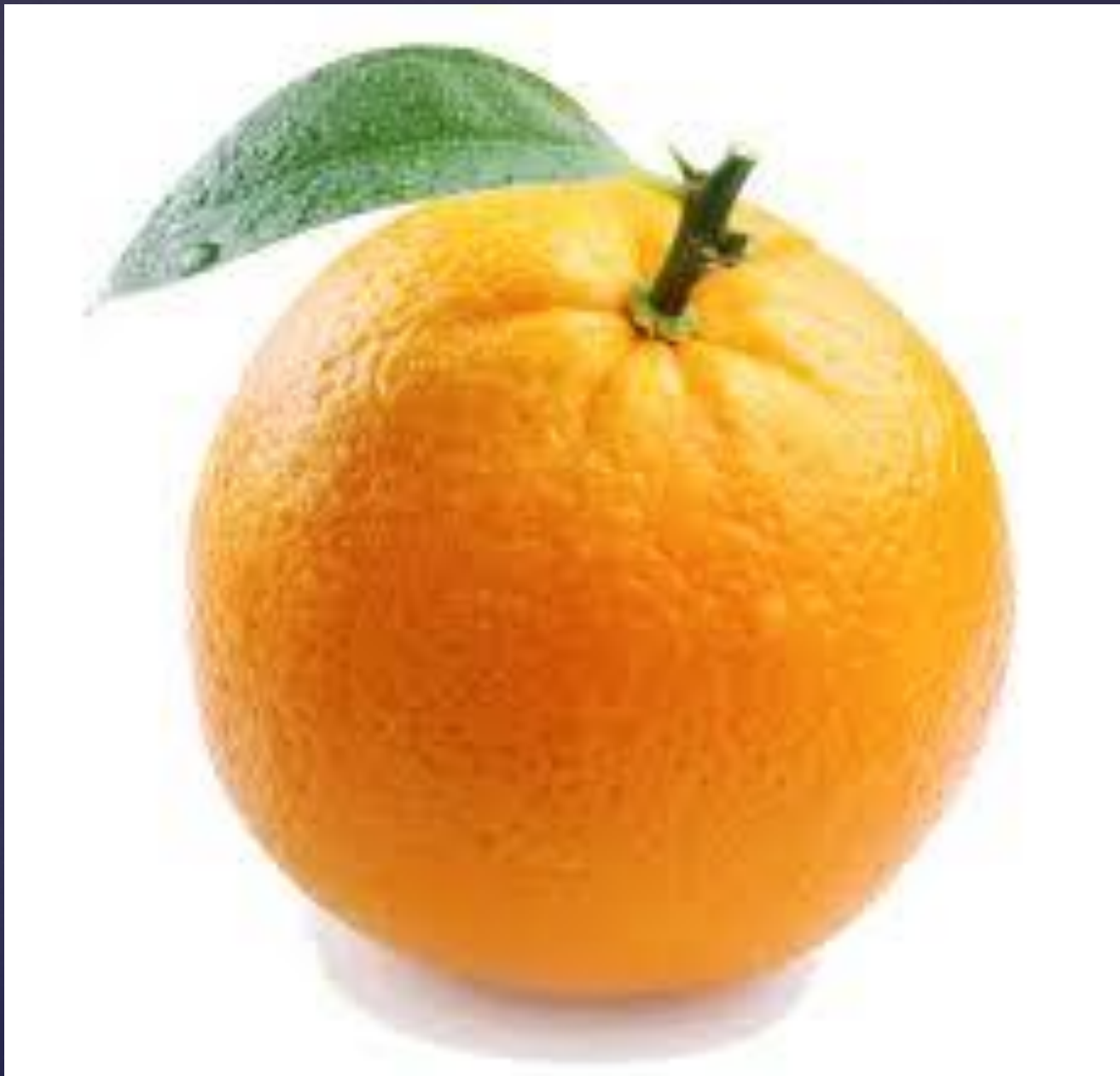




A pond model

個人から
他者へ
社会へ
世界へ
地球へ
宇宙へ

“to truly get it,
one has to personally experience it”



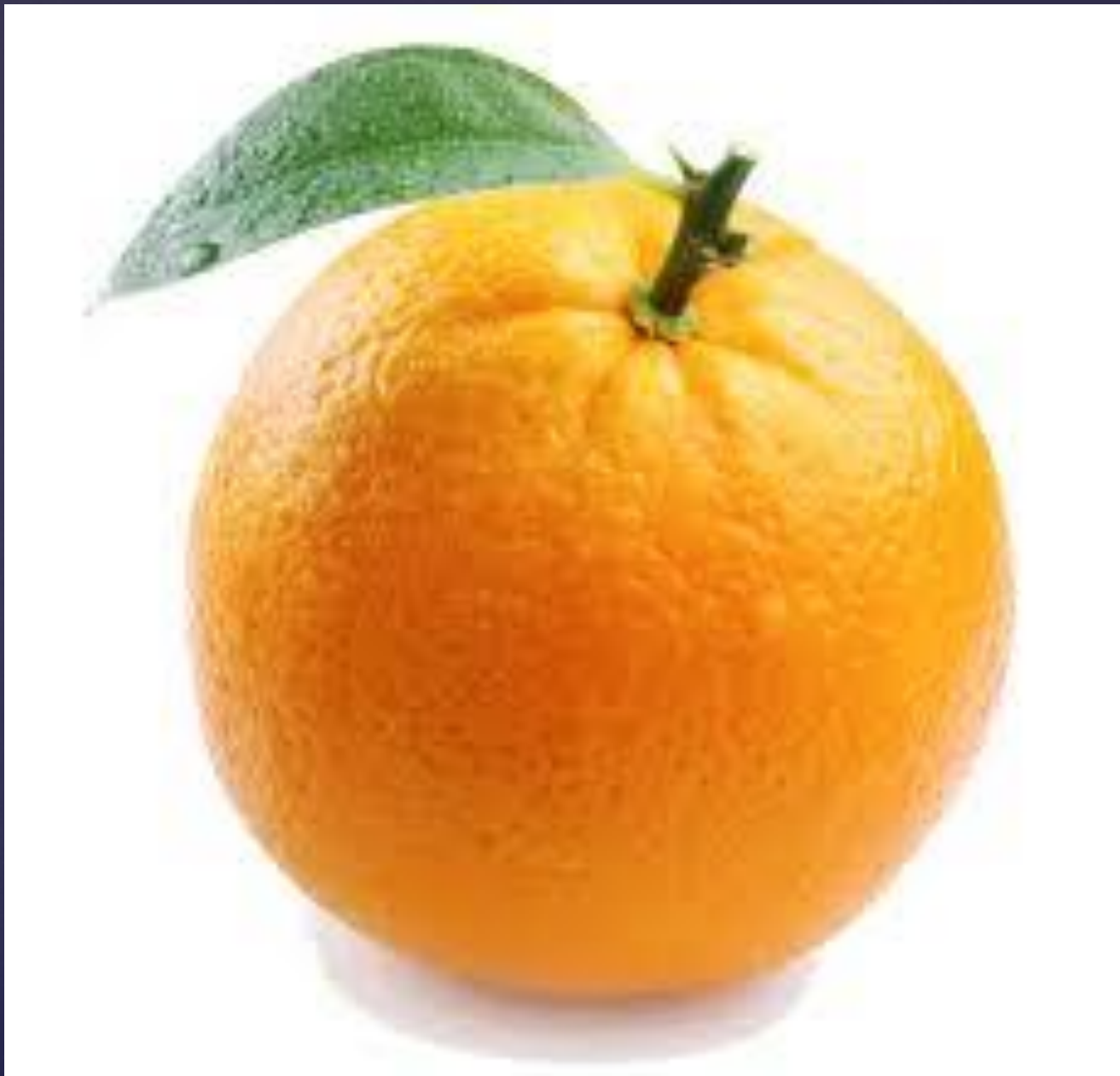


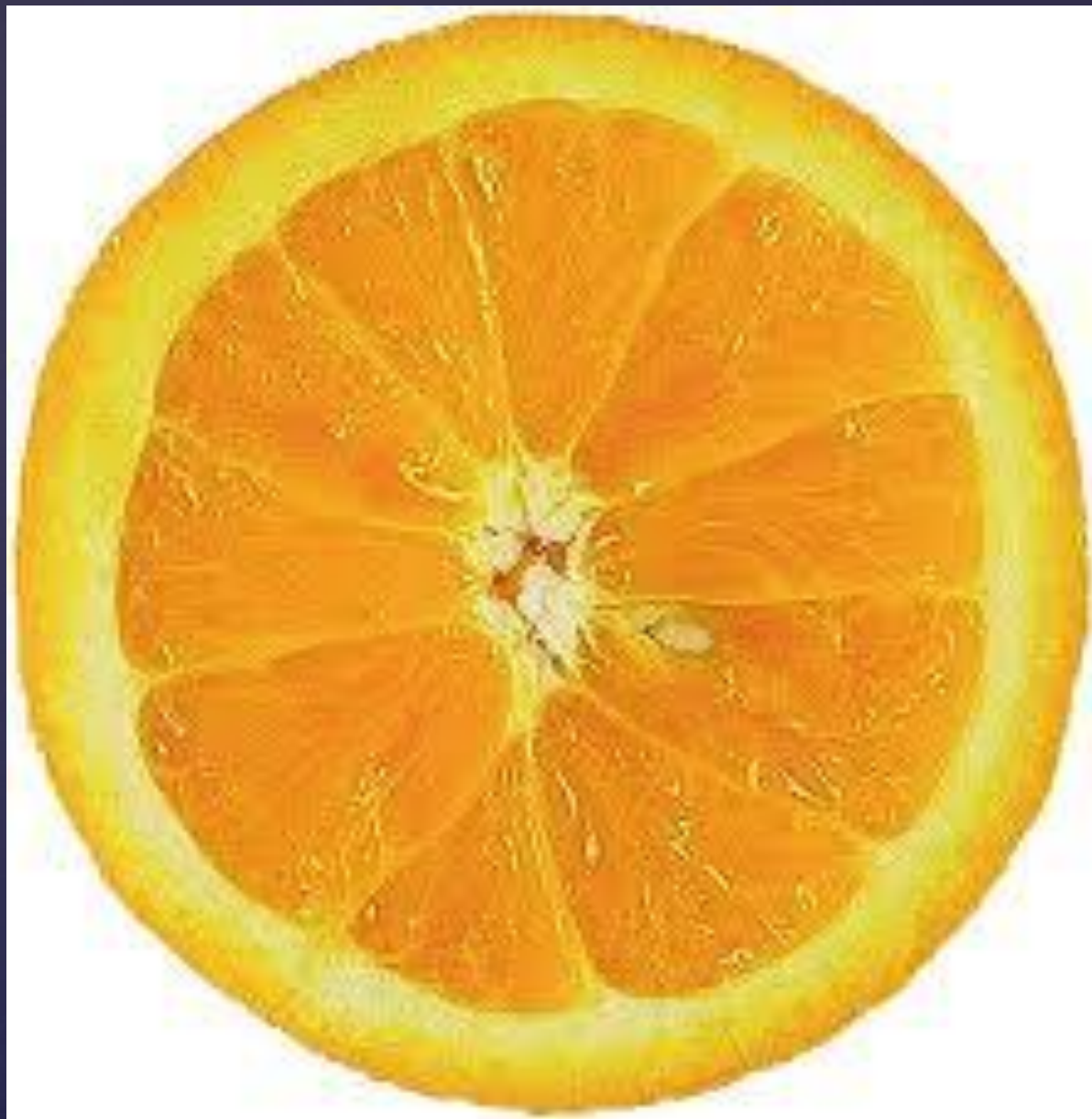
Copyright Dale
<http://www.califor>



Lrong Lim Photos (C) 2010







皮：Trim

知識、技術、技、行動

-時代、環境によって変化するもの-

芯：core

時間、空間を超越して





■ A:loving kindness

■ B:Authenticity

■ C:Sensitivity

■ F:Love-trust-care

■ G:Allow positive
and negative

■ H:Creative
problem solving

■ I:Transpersonal
teaching

■ J:Healing
environment

■ K:Basic needs

カリタス過程

ラテン語

希望・感情を心に抱く

真に理解する

特別の深い愛を持つての気遣い

The 10 Caritas processes

Caritas Process1

Humanistic-altruistic values through cultivating
Personal/professional practice of loving-
kindness, compassion, and equanimity with
self/others.

人間的利他的価値

個人として専門家として、

愛-親切、同情、平静という実践によって

(ワトソン理論の基礎)

利他的？

利他的理想について、
個人的に意味のあるリストを作ってみる。
週の終わりにこのリストを見直してみる、この
単純な作業が育てる。

Caritas process 2

Authentic presence : allowing faith and hope/belief system that honors inner life world of self/others

真の存在 :

自分と他人の内面の世界の尊重する体系、

信念と希望や信頼を可能にする、

自分？

あなたは誰であるか、

あなたにとって正しいと感じられるものはなにか？

あなたの個人的表現としての“優しい親切”を具体的に表現するとしたら？

ケアはまず自身のありかたかた(存在)に始まる
他の人に哀れみを差し出す前に自身に対して

Caritas Process 3

Sensitivity to self and others by cultivating own growth and spiritual practices, beyond ego-control

自我を越えて、自己の成長と精神的実践によって、自己に対しても他者に対しても高い感性をもって。

Caritas process 4

Developing and sustaining loving ,
trusting, caring relationships

愛と信頼、ケアーの関係を発展・維持する

ヒント

物事が巧く行かなくても、あなた自身に実践する

あなたが出会うすべてのひとに実践する

学び経験したものに感謝して愛をもって

Caritas progress 5

Allowing for expression of positive and negative feelings; authentically listening to another person's story

肯定的・否定的いずれの感情の表出を許し、
他者の個人的物語に真摯に耳を傾けなさい。

Caritas process 6

Creatively problem solving/solution seeking through caring process; full use of artistry of self, embracing all ways of knowing/being/doing/Becoming

ケアの過程で創造的な問題解決を探そう、
自己の技量を十分に使って、
よく知り、存在となり、働きかけをし、変化して行くことによって、

Caritas process 7

Engaging in transpersonal teaching and learning within context of caring relationship; staying within the other frame of references; making shift from “teaching” per se toward “coaching” models for health/welfare

ケアー関係の範疇においてはのみでよいが、
トランスパーソナルな教育や学習を実践し、教える
ことから健康/幸福のための指導モデルへとやってみ
てはどうか。

Caritas process 8

Creating a healing environment at all levels;
subtle environment, attending to energetic
caring hearing field consciousness

癒される環境をあらゆるレベルで作りな
さい、意欲的にケアによって癒される場
を意識することに。

Caritas process 9

Reverentially assisting with basic needs as sacred acts; touching mind body spirit of other while sustaining human dignity

畏敬の気持ちで、神聖な行為として基本的必要を手伝い、人間の尊厳を保って他者の知性・肉体・精神に達してみよう。

Caritas process 10

Opening to spiritual, existential, mystery,
unknowns, “allowing for miracles”

精神的、実存的、神秘、未知に対して
心を開いて奇跡の余裕をもみこして。

touchstone

仕事のとくに

1. 病室に入る前、ミーティングの前は、
静かに、集中して、自分を空っぽにして
2. なぜ自分がここにいるかを思い出して、
何度も何度も愛(慈愛)に軸を置いた
心構えに立ち返って
3. ストレスの中では、
深呼吸することを思い出し
自信がないとき、動転したり、ギョツとする時
指導を求めなさい、
どんな状況でもそれを許容し、祝福する気持ちを持つことです。

文献

1. Jean Watson
Nursing :The Philosophy and Science of Caring
2. Kathleen Sitaman, Jean Watson
Caring Science ,Mindful Practice

